

なぜ今生涯学習が必要か

「人生100年時代」と「時間のゆとり」の活用

長寿化に加え、働き方改革などのより戦後で最も年間労働時間が短くなるなど、生涯を通じた「自由な時間」が増えています。

急激な社会変化への適応

技術革新や価値観の多様化、気候変動、人口構造の変動など過去の経験だけでは対応できない時代になっています。

社会的孤立の防止と地域力の再生

核家族や単身世帯の増加により、地域のつながりが希薄化し、孤立が深刻な課題となっています。



生み出された時間を「学び」に充てることで、心身の健康を保ち、いくつになっても「いきがい」や「自己実現」を追求できる豊かな人生設計が可能になります。

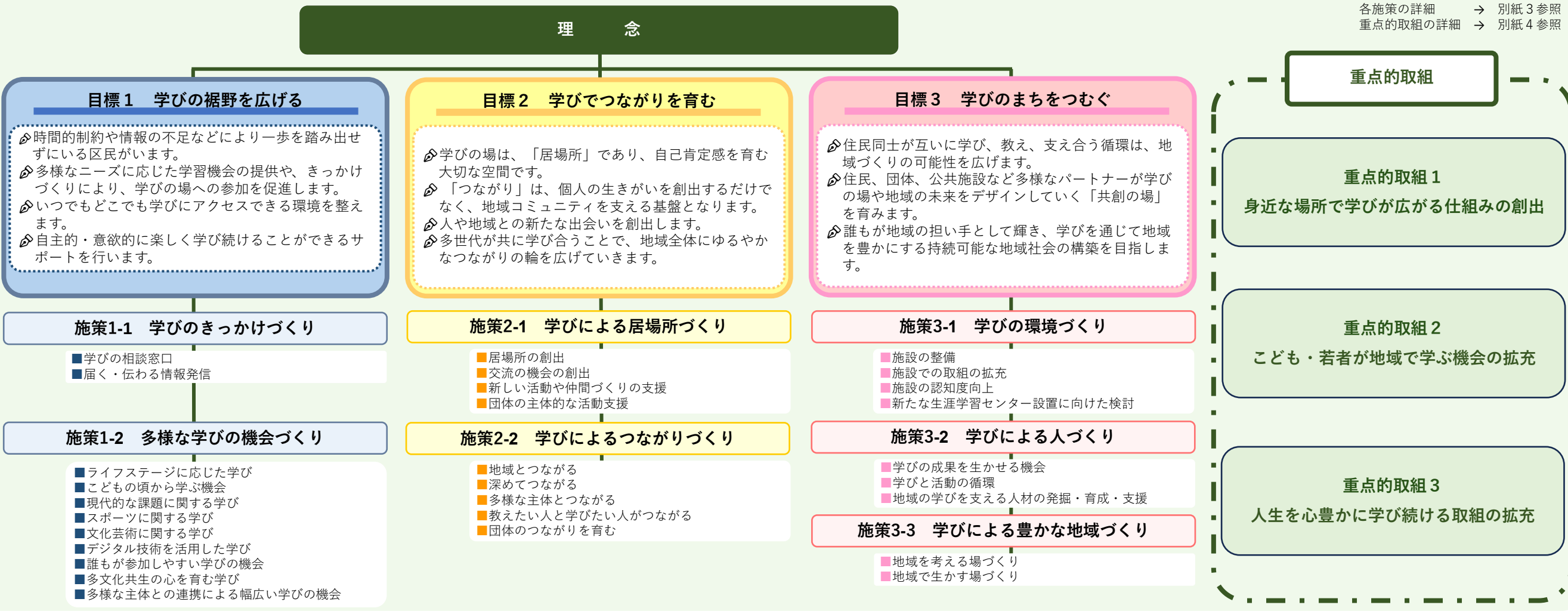
.....生涯学習の必要性.....

自ら学び直し、多様な視点をすることで、変化をしなやかに受け入れ、自分らしく生き抜くための力を養います。



学びをきっかけとした居場所で多世代が結びつき、互いに支え合う関係を築くことが安心できる地域づくりの基盤となります。

体系図（案）



理念（案）

■理念に込めた想い



※大田区基本計画 基本目標2

■理念（案）

- 案A

一人ひとりの学びが響き合い 未来をひらくまち

それぞれが学び、学びを他者と共有し、まち全体に広がっていくことは、豊かな地域社会を創造していくことにつながります。一人ひとりの学びが共鳴することで、まち全体の可能性を広げていくことを表します。
- 案B

学び合い 誰もがいきいき輝くまち おおた

地域の中で学び、教わり、教える、学び合いに焦点を当てた表現です。学び合いから生まれるつながりなどにより、個人にいきがいや幸福をもたらし、全ての区民が孤立せずいきいきと過ごせるまちを表します。
- 案C

学び 共に創る 地域の未来

個人の成長（輝き）と地域の発展（未来）を協力して形にしていける「共創」の姿を描いています。学びを通じて出会った多様な人々が手を取り合い、誰もがよりよい地域を共に創り出していくことを表しています。

目標 1

学びの裾野を広げる

学びへの意欲を持ちながらも、時間的制約や情報の不足などにより一歩を踏み出せずにいる区民がいます。誰もが学びの場に等しく参加できるよう、多様なニーズに応じた学習機会の提供や、知的好奇心を刺激するきっかけづくりを推進します。

いつでもどこでも学びにアクセスできる環境を整えることで、学びを身近なものへと変えていきます。誰もが生涯を通じて自主的・意欲的に、そして何より楽しく学び続けることができるサポートを行います。

施策1-1 学びのきっかけづくり

■学びの相談窓口

「何かを始めたい」という思いに寄り添い、身近な場所で一人ひとりの興味や関心、ライフスタイルに合った情報や活動を提案する相談機能を強化します。学びの一步を後押しすることにより、主体的な学びへのきっかけをつくります。

■届く・伝わる情報発信

サウンドメディアの活用や、SNSによる発信を強化し、いつでも・どこでも・誰でも学びの情報にアクセスできる環境を整えます。情報を届けたい世代に応じた広報手段を工夫し、より届く、より伝わる情報発信を行います。

施策1-2 多様な学びの機会づくり

■ライフステージに応じた学び

各年代の課題やニーズに応じた学習機会を提供します。生涯にわたる自己実現やウェルビーイングの向上を支援する学びの場を充実させます。

■こどもの頃から学ぶ機会

未来を担うこどもたちが、地域の人々との交流や体験活動を通じて、社会への関心や豊かな感性を育む機会を創出します。あわせて、すべての学びの基盤となる家庭においても、親子の対話や日常の経験を共に楽しむ大切さを伝えます。地域と家庭が手を取り合い、こどもの健やかな成長と学びの第一歩を支えます。

■現代的な課題に関する学び

AI技術の進展、グローバル化、少子高齢化といった急激な社会変化を捉え、今を生きるために必要な知識や視点を養う講座を開催します。現代社会の諸課題を自分事として捉え、多様な視点から解決に向けた一歩を踏み出せる力を育みます。

■スポーツに関する学び

健康増進や交流の基盤となるスポーツの価値を広め、「する・観る・支える」といった多様な関わり方を提案します。年齢や体力に関わらず、誰もが気軽にスポーツの楽しさに触れ、習慣化できる機会を創出します。

■文化芸術に関する学び

豊かな感性を育む文化芸術や地域の歴史・伝統文化に親しむ機会を提供します。鑑賞や体験を通じて地域への愛着を深めるとともに、次世代への継承を担う人材の育成に取り組みます。

■デジタル技術を活用した学び

オンラインやオンデマンド学習を拡充し、場所や時間に縛られない柔軟な学習環境を整備します。あわせて、デジタル機器の利活用を学ぶ機会を継続的に提供し、デジタルデバイドを解消することで、誰もがテクノロジーの恩恵を享受し、変化に対応できる力をサポートします。

■誰もが参加しやすい学びの機会

講座の夜間・休日開催などにより、時間的制約があっても学びの場に参加できる機会づくりに取り組みます。また、講座を保育付きで実施し、子育て中の人であっても気軽に学びの場に参加できる取組を行います。さらに、社会的に困難な状況に置かれている区民や、国籍、障がいの有無に関わらず、学習意欲のある区民の誰もが学べる環境を整えます。

■多文化共生の心を育む学び

外国人区民が言葉や文化の壁を越え、地域の一員として主体的に学べる機会を充実させます。多様な文化背景や視点を生かし、地域を共に支える一人として活躍できるよう、意識啓発や活動への参画を促す学びの場を創出します。

■多様な主体との連携による幅広い学びの機会

庁内関係部局・大学・専門学校・NPO・その他の生涯学習関連施設など多様な資源と連携し、幅広い学びの機会を創出します。多様な主体とのネットワークを構築し、区全体をキャンパスとした豊かな学びの場を展開します。

目標 2

学びでつながりを育む

学びの場は、知識を習得するだけではなく、安心感を得られる「居場所」であり、自己肯定感を育む大切な空間です。こうした場を通じて生まれる「つながり」は、個人の生きがいを創出するだけでなく、地域コミュニティを支える基盤となります。一人ひとりが自分らしくいられる場所を大切にしながら、人や地域との新たな出会いを創出します。多世代が共に学び合うことで、地域全体にゆるやかなつながりの輪を広げていきます。

施策2-1 学びによる居場所づくり

■居場所の創出

学びの場に馴染みのなかった区民も気軽に立ち寄れる、開放的で居心地の良い空間を整備します。日常の延長として過ごしたり、困りごとを相談したりする中で、自然と新しい情報や活動に出会い、主体的な学びへとゆるやかに踏み出せる環境を整えます。

■交流の機会の創出

誰もが自分らしく過ごすことができ、新しい挑戦を互いに尊重し、高め合える交流の場をつくります。多世代が立場に関わらず対等な関係で出会い、ゆるやかにつながりながら、それぞれが豊かな人生を歩めるきっかけを創出します。

■新しい活動や仲間づくりの支援

「新しい活動を始めたい」「仲間を募りたい」という個人の思いを形にするためのサポートを行います。施設の掲示板等を活用したメンバー募集の仕組みづくりや、講座などを通じて拾い上げた「学び続けたい」という声を、新たな団体の結成へとつなげます。誰もが、気軽に思いを同じくする仲間と出会い、コミュニティをつくり出せる環境を整えます。

■団体の主体的な活動支援

社会教育関係団体の活動が会員にとってかけがいのない「居場所」となるよう、その継続と発展を支えます。団体運営における悩みや課題に対し、対話を通じて解決の糸口を見つけ、必要な情報提供を行います。あわせて、効果的な広報活動を後押しすることで、団体が主体的に活動を深めていける支援をします。

施策2-2 学びによるつながりづくり

■地域とつながる

地域に根差した専門職が、社会教育の視点や手法を用いて、一人ひとりの活動や団体の思いを丁寧に引き出します。地域の特色に応じた多様な働きかけにより、人と人、人と地域を結び合わせ、地域の個性が光るあたたかな関係づくりを支援します。

■深めてつながる

講座の受講をきっかけに、受講者同士が対話を通じて学びを深め、共有できる場をつくります。知識を得るだけでなく、互いの考えや気付きを分かち合うことで、個人の学びを他者と共有する学びへと発展させます。

■多様な主体とつながる

社会教育関係団体、学校、NPO、公共施設などの多様な主体が分野の垣根を超えて協力し合えるネットワークを構築します。人と人、人と団体、団体同士を柔軟につなぐ架け橋となり、地域全体で学びを支える連携体制を強化します。

■教えたい人と学びたい人がつながる

自身の知識や技術を役立てたい人とそれを学びたい人をつなげ、学びの輪を広げていきます。

■団体のつながりを育む

異なる分野や背景を持つ団体同士の交流を促進し、活動意欲の向上や人的ネットワークの拡大へつなげます。他団体との連携により活動の幅を広げるとともに、地域住民や施設との新たなつながりづくりも支援します。

目標 3

学びのまちをつむぐ

住民同士が互いに学び、教え、支え合う循環は、地域づくりの可能性を大きく広げます。住民、団体、公共施設など多様なパートナーが手を取り合い、自由な発想で学びの場や地域の未来をデザインしていく「共創の場」を育みます。誰もが地域の担い手として輝き、学びを通じて地域を豊かにする持続可能な地域社会の構築を目指します。

施策3-1 学びの環境づくり

■施設の整備

文化センターや図書館などの既存施設を最大限に活用し、住民同士が直接顔を合わせ、つながりを育める場を整備します。学びがさらなる探求や実践へと結びつくよう、多様な活動を支え、新たな可能性を引き出す場の充実を図ります。

■施設での取組の拡充

誰もが身近な場所で、自発的に学びを楽しめるきっかけづくりを進めます。文化センター等での魅力ある講座の開催や、活動団体の体験機会を増やすなど、多様な学習事業のさらなる充実を図ります。

■施設の認知度向上

多くの区民が学びの場を身近に感じ、気軽に利用できるよう、既存施設の役割や魅力を広く周知します。広報手段を工夫し、施設を知らない人や利用したことがない人の来訪につながる取組を行います。

■新たな生涯学習センター設置に向けた検討

区のシンボルとなり、学びを通じて新たな行動を起こすきっかけとなる拠点として、新規の生涯学習センター設置に向けた検討を進めます。誰もが学びに親しみ、新しい一歩を踏み出せるような学習環境をデザインします。

施策3-2 学びによる人づくり

■学びの成果を生かせる機会

学びの成果を発表できる場の拡充や、ボランティア活動への橋渡しなど、学びの内容を地域に広げられる機会をつくります。自分の学びが誰かの喜びや地域の力になることを通じて、活動の充実感を高め、さらなる学びへの意欲につなげていきます。

■学びと活動の循環

「学ぶ・活動する・学び直す」という循環をサポートし、生涯を通じて楽しく学び続けられるよう伴走型の支援を行います。専門職による講座後のフォローアップなどを通じて、学びの継続と深化を支えます。

■地域の学びを支える人材の発掘・育成・支援

自ら学びを実践しながら、その楽しさを周囲に広め、区民と学びの場をつなぐコーディネーター役となる人材を発掘します。人と地域をゆるやかにつなげる活動を後押しし、その活動を継続できるよう、きめ細やかな支援体制を整えます。

施策3-3 学びによる豊かな地域づくり

■地域を考える場づくり

地域の活性化や課題解決をテーマに、住民同士が共に学び、これからの地域について自由に語り合える場をつくります。学びを通じて地域の現状への理解を深め、より良い未来をデザインするための対話を促進します。

■地域で生かす場づくり

学びの成果を地域の活性化やコミュニティづくりへとつなげられるよう、実践に向けた総合的な支援を行います。すでに活動している個人や団体のさらなるステップアップを支えるとともに、活動の魅力を発信することで新たな担い手が加わりやすい開かれた雰囲気づくりを後押しします。また、地域の歴史や自然、文化資源を共に学ぶ体験を通じて、活動の源泉となる地域への愛着と誇りを醸成します。地域での学び合いを育むことで、一人ひとりが主役となって輝ける場を創出し、誰もが「地域のつくり手」として主体的に歩み続けられるようにサポートします。

重点的取組

重点的取組

重点的取組 1

身近な場所で学びが広がる仕組みの創出

要素： つながり 居場所 地域コミュニティ

地域の
つながり
希薄化社会的
孤立地域力の向上
への期待
増加↑

重点的取組 2

こども・若者が地域で学ぶ機会の拡充

要素： 次世代の育成

少子化
核家族の
進行デジタル
環境の
普及地域社会との
関り減少↓

重点的取組 3

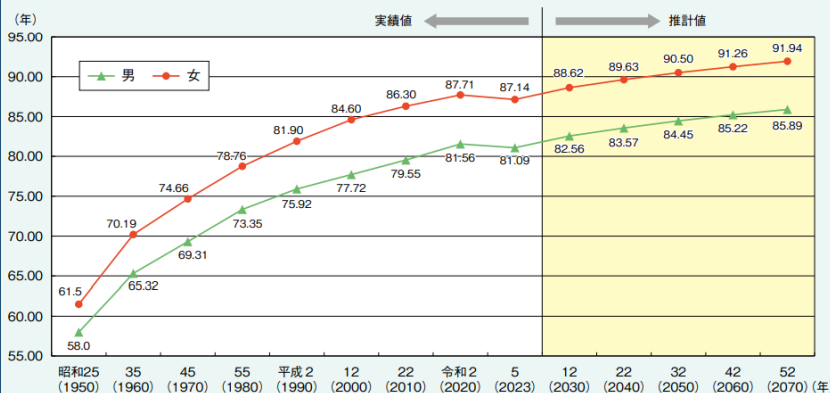
人生を心豊かに学び続ける取組の拡充

要素： いきがい 自己実現 他者理解

長寿化

労働時間
の減少可処分時間の
増加↑

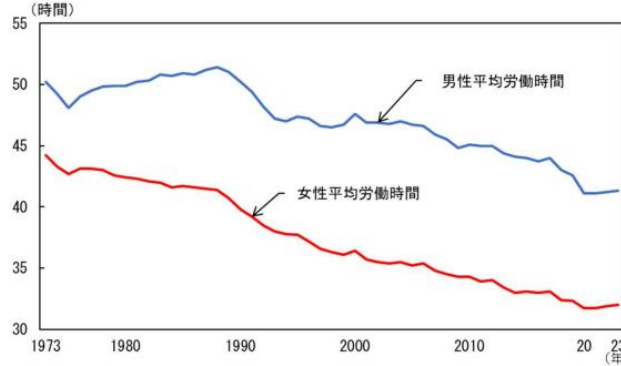
平均寿命の推移と将来設計



資料：1950年、2023年は厚生労働省「簡易生命表」、1960年から2020年までは厚生労働省「完全生命表」、2030年以降は、国立社会保障・人口問題研究所「日本の将来推計人口（令和5年推計）」の死亡中位仮定
 (注) 1970年以前は沖縄県を除く値である。0歳の平均余命が「平均寿命」である。

「令和7年版 高齢社会白書」 内閣府

男女別平均労働時間の推移（1973～2023年）



「労働経済分析レポートNo.4」2024年2月2日 厚生労働省

文化センターなど区民に身近な場所で
生涯学習施策を拡充します

☞文化センターは、多くの区民が徒歩や自転車でアクセスできる場所にあり、そのような施設で、相談できる、学べる、心地よく過ごせる、ゆるやかに人や地域とつながれる機会を創出します。

☞地域を考えるきっかけとなるような場づくりや、学びの成果を地域で生かすサポートなどを通して、誰もが輝ける場をつくり、地域の一人ひとりが地域の未来を共に創る循環の形成を目指します。

こども・若者が地域の中で学び
活躍できる機会を創出します

☞地域活動への参加や地域資源を活用した講座の受講などを通じて地域への愛着を育む機会を提供します。

☞区外から通学する高校生や大学生等を地域の活力として捉え、その感性や専門性を生かせる実践の場を整えます。実践的な経験を自身のキャリア形成や自己実現へつなげます。

☞こどもや若者が地域活動に参画することは、地域住民の生きがいの創出や地域の魅力の再発見を促し、多世代が共に成長する持続可能な地域づくりにつながります。

誰もが生涯にわたって楽しく学び続けられる
環境を拡充します

☞講座等を通じて学び合いを育むことで、生涯楽しく学び続けるサポートを行います。

☞情報発信や相談機能を拡充し、学びたいという気持ちを後押しする環境を整えます。

☞生涯を通じて知識や感性を更新し続けることは、自分らしく心豊かな人生を送るための大切な鍵となります。区の資源を生かし、ライフステージに応じた幅広い学びの機会を提供します。

☞いつでも新しい学びに出会えるような生涯学習センターの設置に向けた検討を進めます。

社会的背景

取組の内容